

東邦大学医療センター大橋病院小児科専攻研修プログラム

大橋・選択専攻科目

臨床検査部（1～7ヶ月）

1 目的と特徴GIO

医療における臨床検査の役割すなわち検査は何のために実施されるのかを理解することを GIO とする。

2 プログラム管理運営体制

東邦大学医療センター大橋病院臨床検査部のコメディカルを含めたミーティングにて、本プログラムの管理、運営を検討する。プログラムの内容や運営に問題が生じたとき合議の上で修正や変更を行ない、必要に応じて指導医を対象とした会を開催して情報の伝達やアドバイスを行なう。

3 教育課程

3-1 研修期間と研修医配置予定

選択専攻での研修期間は2～7ヶ月である。

東邦大学医療センター大橋病院臨床検査部に配置される。指導医あるいは担当技師の下で必要な検査を行なう。

3-2 到達目標

3-2-1 行動目標 SBO

- 1) 正しい採血を行なうことができる。
- 2) 血液型の判定ができる。
- 3) 正しい検体の取扱いができる。
- 4) 精度管理を理解し、検査データの誤りを判定できる。

3-2-2 経験目標 SBO+LS

3-2-2-A 経験すべき診察法・検査・手技

- 1) 血液検査では検体の取扱を学び、血液像が読めるようにする。
- 2) 生化学検査では検体の取扱を学び、精度管理の方法を理解できるようにする。
- 3) 酸・塩基平衡の測定と判定ができるようにする。
- 4) 免疫検査では肝炎ウイルス、HIV、インフルエンザウイルス、梅毒の検査ができるようにする。
- 5) 一般検査では正しい採尿法を学び患者に教えられるようにする。尿沈査が読めるようにする。
- 6) 細菌検査では検体の正しい提出法を学び、菌の同定と薬剤感受性ができるようにする。

3-2-2-B 経験すべき症状、病態、疾患

- 1) 異常値
- 2) パニック値

3-2-2-C 特定医療現場の経験

- 1) 採血室にて正しい採血法を会得する。
- 2) 輸血室にて血液型を判定する。

3-2-3 評価基準

臨床検査に適切に対応できる基本的な技能、知識が修得されたかを基準として評価する。

3-3 勤務時間

研修期間中の勤務時間、休暇に関しては東邦大学医療センター大橋病院の規程に従う。
勤務時間は原則的に午前 9 時から、午後 5 時である。しかし、採血日は午前 8 時 30 分から。勉強会などは勤務時間外にも行われる。

3-4 教育行事

1. 勉強会：第 3 水曜日午後 6 時から。医師・技師の学会発表予講。
外来講師を招いてトピックス、メーカーによる新しい機器の説明を行なう。
2. 患者の骨髄穿刺と血液像を読む（指導、川杉客員講師、志越客員講師）。
不定期。

3-5 指導体制

本プログラムの最終的な指導責任は、基幹病院である。東邦大学医学部大橋病院臨床検査研究室の指導責任者にある。研修医は採血室、輸血部、血液検査、生化学検査、免疫検査、一般検査、細菌検査のチーム長の下でチームの一員として指導を受ける。

4 研修医個別評価

プログラムの終了時に、チーム長の評価表を参考に、臨床検査に適切に対応できる基本的な検査の技能、知識が修得されたかを指導責任者が総合評価する。